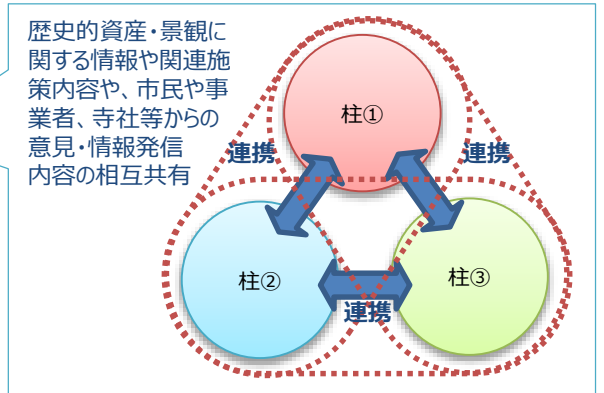


景観に関するあらゆる「情報」を共有し、市民や事業者のみなさまに発信するしくみの構築
 歴史的資産・景観に関する様々な情報や関連施策について、視覚的に分かりやすく整理し、市民や事業者、寺社などと共有できる仕組みを構築する。
 また、京都市から情報を発信するだけでなく、市民や事業者、寺社などからも地域の景観に関する意見・情報等を投稿できる環境も整備するなど、相互に共有することができる体制を目指す。

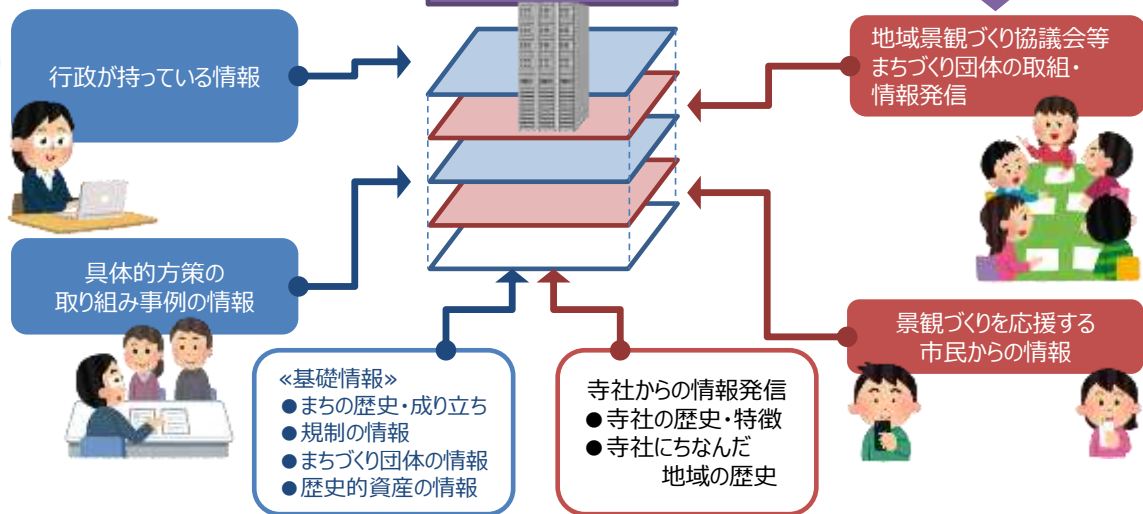


例)
 ・具体的施策柱①～③の概要情報の掲載
 ・景観重要建造物、文化財、保存樹、界わい景観建造物、歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園などの情報の掲載
 ・都市計画、歴史文化、緑地等の行政分野間の情報連携による、総合的な情報発信
 /等



例)
 ・個別に情報共有プラットフォームにアクセスすることによる情報収集、理解の促進
 ・掲載情報を活用した、景観学習等の取組の推進
 ・景観市民会議、その他景観関係の研究会・シンポジウム等での有効活用
 /等

例)
 ・地域景観カルテ（仮称）情報の共有
 ・事前協議制度（仮称）での具体的な配慮事例の紹介
 ・景観重要建造物等への支援事例
 ・専門家派遣制度活用事例の紹介
 /等



例)
 ・地域景観づくり協議会の活動事例の紹介
 ・寺社関係者と周辺住民との、歴史的景観保全に関する協働取組事例の紹介
 ・地域景観づくり計画書の内容
 ・地域が選んだ「町並み文化財」等の情報
 /等

例)
 ・「守っていききたい歴史的景観」での市民提案募集の結果や、メール投稿等による景観上の課題事象情報の入手
 /等

プラットフォーム活用イメージ



様々な地理空間情報を外部から呼び出し、重ね合わせて統合し、参加型で情報を追加したり、議論や意思決定を行うことができるWebマッピングシステム（Web-GIS）

導入事例）岐阜統合型GIS（※表示事例は朝市マップ）